

農業の本命に加えて

温室ブドウの出廻っている今日、ブドウの硝子室栽培は常識であるが、温州ミカンのハウス栽培といえば奇異な感じを持つ。真夏の7月から8月に市場に出そうというのであるから、奇を好む意識は否めない。高級料理店むきで大衆的ではないとの反発的な感情も手伝って、こんな栽培法は農業技術といえるかと非難の声も起る。

しかし、生産者にとって1キロ千円にも2千円にもなって高く売れるなら、なお消費者が高級料理店であろうと大衆であろうと問題ではあるまい。利益を追って生産に工夫をこらす努力は尊く評価されねばならぬ。公共的な大きな流れとしての技術ではないにしても、わが国の農業にはこの種の技術の有効な場面が随所にみられるのである。

温室ブドウは勿論のこと、メロンだって、トマトやキュウリの施設栽培だって、その当初は限られた人種への供給だった筈である。園芸だけではなく、茶の覆下栽培の玉露、鰻の養殖も似たようなものである。

私はかつて陸稲のマルチ栽培を末世的技術として批判したことがあるが、マルチにより栽培北限を上げた事実をみて反省させられた。多収や省力は技術の太い背骨としてゆるぎなく定着するが、同時に農民の工夫による局所的・部分的技術も尊重して、その芽が育つよう配慮が大切である。工夫が育ってこそ農民が育ち農業・農村が発展する。従来儲かる農業に加えて興味ある農業の普及が必要である。

(日本植物調節剤研究協会会長 戸蒔義次)

目 次 (第8巻第6号)

野菜における生育調節剤利用の現状 と問題点

1. 野菜に対する生育調節剤利用
の現状…………… 2
2. 未登録生育調節剤の使用状況
と問題点…………… 3
第1表 未登録生育調節剤の野
菜に対する使用状況…………… 4
第2表 野菜に対する登録生育
調節剤使用基準…………… 7
3. 今後の対策…………… 11
第3表 早急に登録を図る必要
のある生育調節剤と使用基準… 11

<農林省野菜試験場育種部 栗山尚志>

昭和49年度春夏作野菜・花き関係 除草剤、生育調節剤試験成績概要

- 昭和49年度春夏作野菜花き関
係除草剤(材)・生育調節剤(材)
試験成績判定表…………… 14
- I. 除 草 剤…………… 27
- II. 除 草 資 材…………… 45
- III. 生育調節剤…………… 45
- IV. 前回未検討生育調節剤…………… 49

<農林省野菜試験場育種部長 西貞夫>

新登録除草剤一覧…………… 50

<農林省農蚕園芸局植物防疫課>

- 新除草・調節剤…………… 53